



南小だより



櫛引南小学校

令和8年1月28日

確かな助走を

校長 奥山 徹

暦の上では春を迎える2月ですが、居座り寒波もあり、まだまだ厳しい寒さが続く季節です。そんな中でも、みなみっ子は学習への姿勢や友達とのかかわり、挨拶・清掃などの日々の生活の中で着実に成長を見せています。教室では、自分の考えを友達に伝えたり、学んだことをさらに深く理解しようとしたりする姿が多く見られ、1年間の大きな成長を実感しています。

2月・3月は、1年間の学びを振り返り、次の学年に向けて準備を進める大切な「助走の時期」です。子どもたちは、自分ができるようになったことを確かめながら、次に挑戦したいことを考え、前向きに学校生活を送っていますが、次年度への「期待」と「不安」が入り混じることもあります。本校では、そういった気持ちに丁寧に寄り添いながら、学級での振り返りや目標づくり等を通して、一人ひとりが自信をもって進級・進学できるよう確かな助走を支援してまいります。

また、この季節は友達や学級の仲間との関係が深まる時期でもあります。子どもたちにとって人間関係を築くことは、学習と同じくらい大切な「学び」です。とくに6年生は卒業まで残りわずかとなり、仲間と過ごす時間を大切にしながら、互いの良さを認め合って日々を重ねています。仲間との絆を最大限に深め、卒業式を迎えられることを願っております。

保護者・地域の皆様には、今年度も多くの場面で温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。家庭での声かけや生活習慣の見守りが、子どもたちの大きな支えとなっています。年度末までの残りの期間も、学校とご家庭が力を合わせ、子どもたちの成長をしっかりと後押ししていけたらと思います。

春の訪れとともに、子どもたちがさらに力を伸ばし、次の学年へ自信をもって進んでいけるよう、教職員一同、これからも全力で支えてまいります。

魅力的だけど怖い雪山

南小のグラウンドに除雪車が飛ばした雪が積もり4～5mぐらいの大きな雪山ができました。子どもたちにとっては、とても魅力のある雪山ですが、踏み固められていない雪山なので登るのはとても危険です。先日、生徒指導担当の職員が子どもたちにその危険性について説明しました。雪は楽しいけれど怖い面もあるので、いろいろな場面で注意していきましょう。各家庭や地域でも、声をかけていただくとありがたいです。

◆道路が凍っている時は車がすべって近づいてくるとも！

◆屋根の雪が一気に大量に落ちてくることも！

◆除雪車が通った後は、道路がツルツル！

